

# タイマイ ストランディング保護個体報告

○タイマイ *Eretmochelys imbricate*

太平洋、大西洋、インド洋の熱帯海域に生息しており、伊豆ではあまり見ることができない種類です。

頭は細長く、クチバシが尖っています。甲羅の縁はノコギリ状で、背甲の鱗板が瓦のように重なることが特徴です。甲羅が綺麗なモザイク模様になることから、古来よりべっ甲細工の原料として使用されてきました。



## タイマイの保護

2020年12月3日に南伊豆町本瀬海岸にてタイマイが漂着しているのを一般の方から連絡をいただきました。衰弱していたため、水族館で保護し、注射治療や強制給餌を施し回復を目指しました。12月11日に初めて自力で餌を食べ、水槽内で泳ぐ様子がみられるまで回復しました。

2月頃には放流することを検討するほど回復しましたが、海の水温は低く、タイマイが生きていくのには厳しいと判断し、水溫が十分に上昇するまで飼育を継続し、2021年8月22日に漂着した南伊豆町本瀬から放流しました。放たれたタイマイは元気よく泳ぎだし、しばらくすると沖に姿を消しました。

搬入時の体重5.24kg・直標準甲長406mm・直甲幅303mm  
放流時の体重6.12kg・直標準甲長431mm・直甲幅313mm



通常、漂着する場合、かなり弱ってしまっている事が普通で、放流できるまで回復させることは難しいとされています。

近年、海洋生物への関心の高まりとともに、今回のような衰弱した生き物への対応は、以前より増して水族館に求められています。今後も衰弱した海生生物が発見された場合、飼育員の技術や経験を活かし対応していきたいと考えています。